

やすらぎ

平成22年5月1日
〔第133号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

平成22年度事務所総会開催

心新たに新年度スタート

4月12日(月曜日)19:30から事務所講堂に於いて、平成22年度事務所総会が27名の出席で開催されました。会員総数92名、委任状50通。

第1部の総会は、山原百合子さんの司会で始まり、国歌斉唱、物故者への黙祷、吉田実代表世話人の挨拶に続き、山田幸雄さんを議長に選出し、平成21年度事業経過報告、会計収支報告が問題なく承認され、次に平成22年度活動方針、規約改正、組織が発表され承認されました。出席者全員、心を新たにモラロジー活動に取り組む意を強くしました。副代表世話人は倉本佳洋さんが務め、お世話活動は休止となります。

第2部懇親会は、女性クラブが心を込めて準備した品々をおいしくいただきながら歓談し親睦を深めました。



「LET'S 体力測定」

青年クラブは4月18日13時より旧御所東高校体育館をお借りして、体力測定会を行いました。

これは県内の青年クラブが持ち回りで2ヶ月に1回行うイベントの第5回目で、ここ数回は講演会が続いていましたので、心の学習は他の青年クラブに任せて、当青年クラブは身体の学習、まずは自分の体力を知ろうという主旨でイベントを行いました。

参加人数は51名(うち、当青年メンバーは10名)で13歳から52歳と幅広い年齢の方に参加していただきました。

測定項目は文部科学省の「新体力テスト」に則った、握力・立ち幅跳び・反復横飛び・上体越し・長座体前屈・2



0メートルシャトルランの6項目を測定し、そのデータをもとに自分の体力を自覚してもらいました。

測定終了後は、参加者を半分に分けて昔なつかしい「玉入れ」を行いました。私は、「青年クラブの長としてみんなを引っ張っていかなければ」という思いから、バタバタして準備不足になっていたにも関わらず、当日は当青年クラブ全員が手馴れた様子で参加者を迎えてくれ、接してくれていました。「こんなことなら、もっと早くみんなに役割をふって準備してもらったら、万全な態勢がとれたのに」と自分の不甲斐なさを感じました。

目標100名には届きませんでしたでしたが、参加者も当メンバーとの交流もでき、今後の青年クラブの礎になったのではと実感しました。

青年クラブ 米田

四 国 歩 き 遍 路

3月27日いつも通り朝4時出発。参加者7名。四国に入る頃空が白み始め、青空と青い海が私達を迎えてくれます。

今日は雲辺寺(うんぺんじ)からのお参りです。八十八ヶ寺の中で一番高い所にあり、かつては遍路転がしといわれた難所、急勾配の山道を3時間近くひた歩くとの事。全員わくわくしながら雲辺寺ロープウェイ駅に着いた。いつも元気なYさんが「今日は体調悪いんでこれに乗るわ」。

そこで一足先に6人はロープウェイを横目に山道に入る。少し登ると「え！行き止まり？」バックして売店まで戻り聞くと、「行き止まりの手前に右に入る道があるでしょう！」との事。再び同じ道を行くと分かりにくいがあった。細い山道をず～と上る。所々に山桜やツツジの花、若葉で春の匂いもさわやかなので気持ちは良いが、少しぐらい平たんな所があればうれしいのにと、内心思いなが



ら、行けども行けども上り坂、「う～～！しんどい」でも楽しい！。吐く息は白く、山頂に近づくと雪が残っている。足元の霜柱を踏みながら上がる。頂上の小屋にはつららが下がっている。そして五百羅漢がお出迎え！。やっと着いた。2時間半！

先に到着のYさんと共にお寺にお参りし、瀬戸内海のパノラマに感激し、ここで昼食。コンビニで買った思い思いの弁当を口に入れ幸せなひととき。

下りは3人がロープウェイ組になり、2夫婦4人が歩いて下る事に。「じゃー、下であいましょう！」と分かれ、ルンルン気分で下り始めたが止まらない。足が勝手にコロコロと動く。ふとももが笑い



だしそのうち膝も笑い出した。松葉が優しくクッションになってくれるが……。少し休む。又コロコロと下る。1時間半で合流。「早や！」。

次は67番大興寺、70番本山寺を回り、今夜泊まるホテル(観音寺グランドホテル)近くの銭形砂絵を見学に。まずは琴弾公園山頂から寛永通宝の巨大な砂絵を見学し、又近くまで降り間近で見学する。「銭形を見た者はお金に不自由しない。」との言い伝えがあるとか。これで私達全員お金に不自由しないでしょう??。夜は近くの天然温泉で体をほぐしホテルでディナータイム。1人は体調不良のためうどん一杯。

翌28日、Kさん1人早朝1万歩散歩し

てきたとの事。スゴイ!

71番弥谷寺(いやたにじ)から72番漫茶羅寺(まんだらじ)まで1時間歩く。73番出釈迦寺(しゅつしゃかじ)74番甲山寺は車でお参り。最後は満濃池の見学をして家路に着きました。

今回は春真っ盛りの旅で、花が咲き若葉と共に青空にも恵まれました。香川県は温暖小雨で慢性的に水不足の為多くのため池がそこかしこにあり、その風景も又心に残るものがありました。

Masayo

ツアーガイド(5)

平城遷都への脱皮

私は学校を出て名のある石油会社に就職していた。丁度日本の国が、戦後再び石油精製元売会社として通産省の許可を受け、年毎に、大会社へと躍進していった。ところが2年もした頃、中小企業からの脱皮という宿命が、急速な成長をはばんだ。お茶の葉も支給されず、社員たちが自費で賄った。そして他の会社と合併を余儀なくされた。そのことは今も脳裏に残されている。

奈良県から認められたボランティアガイドに課せられて、老人たちの集団が、近鉄・大和西大寺駅へ降りたっていく姿が目にも止まるようになった。信頼される社会人として往年自信を持って歩んで来た老人たちも、フリーランサーとしての誰にもたよられず、相談も受けずに居る一人一人が、毅然と誇りをその態度に表していた。そしてその集団に私がいた。

この奈良の町は少年時代よりおなじみである。春ともなれば遷都祭があった。この行列は奈良公園や三条通りを人々でいっぱいにした。集団の農協さんたちをよく見かけた。行列の中で特別飛鳥人がいて、他では見られなかった。

私が知る飛鳥人は、その想像において、万葉人の感性豊かな口マンを潤った。「采女(うねめ)の袖吹き返す 明日香風 都を遠み いたずらに吹く」とあとをふり返った。

ところがあの世は、百済が、高句麗が滅亡してそがれ、唐と新羅の台頭して、移り変わる社会事情は飛鳥人を大きく刺激して止まなかった。百済が滅んだ直後、百済救済の日本軍が、唐、新羅の連合軍の水軍と白村江で戦い、大敗北をする。都を近江・大津に移し、天智天皇没後を大海人皇子(天武天皇)が大友皇子

に勝利し、壬申の乱後、天武天皇、御自身が自ら発議されて、「京（みやこ）」というものがわが国にはない。唐には長安があり洛陽がある。皇帝がかわっても首都はかわらず、永続的に政治がおこなわれているのである。国家とは、こういう姿をもつべきであろう」と新城（にいき）とよばれる大和平野に新都建設の有力な候補地を選定しようとした。

首都の建設候補地をはじめて現地視察が行なわれ、この間並行して難波を副都として整備する方策であった。だが実現をまたずして、天武天皇は没し、彼が死の前に定めた藤原の地を、皇后が引き続きこの事業の実現にあたることになり、亡き夫の遺志の実現にあたった。そして藤原不比等が刻々と小身の位置から身をあげてくる。

彼は、父藤原鎌足が中大兄皇子（天智天皇）を若くして君主と仰ぎ大化改新を共に成し、終生理想的な主従関係でつらぬいたことを、天智の娘である持統天皇は知っており、このような縁と父達と同じように気脈があったのか、若い不比等は草壁皇子の補佐役に指名され、あとは深々と運命的にその強運にまたがっていった。

彼は若くして国史編纂の決定済みの人事に又従兄弟の中臣大嶋を押しこんだりして、『古事記・日本書紀』への関与遠謀に才智を謀っている。

持統天皇が先帝からの遺志をはたしていくには好都合な人物として、わが子草壁皇子の近習としてだけでなく、つねなる遺志遂行の助力者として、日々の献策の助言者に適任である腹心とあつかっていったのだろう。賢明であるが女性である。女性は一方にかたよりすぎた傾向は助長されて、彼女の没後、彼は、表舞台へと進む。

トーマス



運営委員会報告

4月22日（木）午後8時から定例の運営委員会が開催され、委員13人が出席しました。吉田代表世話人は「4月14日当事務所が空巢の被害に逢い、報恩箱の中の現金などが無くなりました。今後の対策は、審議事項で検討し実施します。また、4月4日（日）地方責任者研修会が大阪出張所で開催され、参加してきました。研修内容は、公益財団法人のことがほとんどでした」と挨拶し議事に入ります。

した。

報告事項

1. 総会終了報告があり、欠席の会員には、総会資料を地区委員を通じて届ける（1世帯1部 例外を除く）。懇親会の費用22,497円を事務所会計より支出することを承認。
2. 青年クラブ（米田青年クラブ長）の報告あり、当日は吉田代表世話人より挨拶あり、趣旨とイベント内容の

- 説明の後、ラジオ体操を行い測定を開始。文部科学省の「新体力テスト」の実施要綱に沿って行う。データで順位を出し、表彰式をして16:00に終了。参加者全員に参加賞を配布。不足の費用27,696円を事務所会計より支出することを承認。
3. 女性クラブ(田村女性クラブ長)より、5月16日(日)事務所駐車場に於いて、富士秀子さんと坂東和佐子さん担当で世代間交流グラウンドゴルフ大会を行います。
 4. 教育者研究会(川崎徹氏)は、今年で第47回目を迎え、奈良県は南北2会場で行われ、御所は南会場に参加。
 - ・ 開催日 平成22年8月22日(日)
 - ・ 会場 奈良県社会教育センター
 - ・ 会費 2,000円
 - ・ 講師 太多和聡宏氏(開星中高等学校長
モラロジー教育者講師)
梶田叡一氏(兵庫教育大学長)
 学校の先生方にお薦めをよろしく
 お願いします。

審議事項

 1. 維持員研修会を10月16日(土)、17日(日)に行う。7月15日(木)までに開催申請書を提出。スケジュール等は後日、決める。
 2. 伝統の日、感謝の集いについては、6月13日(日)中日本会場へ参加することになり、担当は研修委員会。案内状を作成し、後日配布する。
 3. 会費(前期分)の徴収については、5月中に総務委員会で領収書を作成し、6月に地区委員が徴収。会員数は92名。
 4. 研究費(報恩箱)の「セキュリティ」について、現在、報恩箱は使用禁止。今後の対策として、毎月4日、5日、12日の会計担当が管理中に報恩箱に入れる。報恩、協力費を銀行口座に振り込む。を併用して、各自都合の良い方法で行うこととする。
 5. 生涯学習セミナーについては、細川家成さんが実行委員長に決定。今年4月から公益財団法人になってどのようなセミナーにすべきか認識のため、5月24日(月)事前学習会を山田悦雄氏を招き行う。また、5月30日(日)セミナー事前打ち合わせが大阪出張所で行われ、細川実行委員長他8名が参加予定。事務所開きには、前田道弘近畿ブロック部長をお招きする予定です。スタッフの役割の大切さと積極的な参加者の募集取り組みが重要である。



KIN

編集後記
 お遍路さんに行ってきました。
 今回は八十八ヶ寺中、最も高いところにある六十六番札所雲辺寺(九二七m)です。
 次は十二番札所焼山寺(八〇〇m)です。
 十八年十一月に藤井寺から一日がかりで歩き、五時前にお参りを済ませ、宿まで真っ暗な道を歩いた事が思い出されます。宿の名前は、そうそう「なべいわ荘」。
 ④ 次に高いのは、六十番札所横峰寺(七五〇m)
 十八年五月から始めたお遍路さん。年に一〜二回のペースでお参りし今年で四年目。あと残すところ十四ヶ寺となりました。
 そろそろ寂しい気分になってきました。
 寂しいと言えば、高速料金「なんぼ走っても千円」が無くなるか?。せめて、お遍路さん終わるまで続けてください、maharaさん